



自ら学び考え、主体的に物事に取り組み行動できること

校長 敦澤 雅規

私は学校経営計画の中の「目指す生徒像」をテーマに、一年間を通して全校朝礼で話をしています。昨年度は「思いやりをもって自分から明るい挨拶や声かけ、リアクションをとれる生徒」、今年度は「自ら学び考え、主体的に物事に取り組み行動できる生徒」です。今年度早くも半年が経ちましたが、最近の生徒の様子をお伝えします。1年生は農園活動に前向きに取り組み、自ら土にまみれながら作物の成長を見守っています。2年生は9月の3日間、市内の事業所を中心に職場体験に出かけ、意欲的に活動し働くことの意義や喜びを学びました。3年生は今月初旬の3日間奈良・京都方面に修学旅行に出かけました。京都市内の班行動では、知らない土地にも関わらず、班員で協力し合い励まし合いながら、班がバラバラになることなく、仲良くしっかりと行動することができました。どの学年も素晴らしいです。学習の面でもより一層前向きに主体的に取り組み、自ら学び考え語り合っしてほしいと思います。九中生がこれからも日頃の学校生活や行事等を通して主体性を育むことができるよう、支援・応援していきます。



【10月の朝礼より】

始業式から1か月が経ちました。月日が経つのは本当にあっという間に感じてしまいます。始業式の日「オリンピック体操男子団体戦」の話をしました。覚えていますか？みんなもこれから、ぜひ一緒に過ごすこの仲間と「励まし合い声を掛け合い、認め合い」ながら、チームワークや友情を築き上げてほしいと思います。

さて、9月の初旬に、2年生が職場体験に出かけました。働くことの大変さややりがいを感じたことと思います。私は時間を見つけて、幾つかの職場を回ってみました。そこで職場の方と話をしたのですが、「生徒さんはよく頑張っていますよ」「挨拶に心がこもっていて、とてもいいですね」「話しかけると反応してくれて嬉しいです」などと、感謝の気持ちをたくさん言っていました。私は昨年の2年生、つまり今の3年生の時と同じように嬉しく感じて、今年も「ありがとうございます、自慢の生徒たちなんです」と答えました。2年生のみんなは、日頃の生活から、リアクションを身に付けてくれているんだなと感じました。地域の方々に嬉しい想いを届けてくれて、「どうもありがとう」。

今日はもう一つ、みんなに話したいことがあります。それは「自ら学び考え、主体的に物事に取り組み行動できること」の話です。みんなはバレーボールの石川祐希選手を知っていますか？石川選手は5月にイタリアトップチームのペルージャへの移籍を発表しました。その理由として、彼はこう言っています。「僕にとっては数少ないチャンスだったので、そこに挑戦というか、目標を達成するために今回は決断しました」。…石川選手にとっての「目標」とは何だだと思いますか？…おそらくは「世界一のプレーヤーになる」ことなのだと思います。

私たちがプロの頂点に立つことは簡単ではありませんが、「目標と同じくらい高い想いの強さを持ち続けること」はできるのではないのでしょうか。小さな「目標」で構いません。「その目標に向かって、自ら学び考え、やらされるのではなく自分から物事に取り組み行動してみる」こと。ぜひこの2学期、挑戦してみてください。もうやっているよ、という人はこれからも続けてみてください。2学期も応援しています。